

2019年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名 高島市国際協会 (都道府県: 滋賀県)

1. 当該地域の情報 (2019年12月現在)

地域の課題	高島市内には、工場や介護施設などで働く日系ブラジル人が多く、家族で居住している。日本語が理解出来ない事から日本人との交流はほとんど無く、地域の自治会活動、子弟の通う学校との意思疎通に支障をきたしているケースが見られる。また、ベトナム人エンジニアと配偶者、技能実習生が多数居住しているが、地域社会との交流はない。高島市の人口は年々減少しているが、外国人数は増加している。今後、益々増加が見込まれる中、地域での多文化共生社会の実現に向けて対策が必要である。
在住外国人数 外国人比率	高島市総人口 48,203人 外国人数 580人 比率 1, 2%
在留外国人の 状況	【主な国籍と人数】韓国・朝鮮191人 ベトナム116人 ブラジル101人 中国67人 フィリピン23人 インドネシア20人 その他61人 【在留資格】特別永住者168、技能実習97、技術・人文知識・国際業務94、永住者88、配偶者等49、定住者43、家族滞在12(人) 【滞在年数・在留期間などの状況】不明: 高島市役所市民課より、在住外国人の人権(高島市は特別永住者の方が特に人数や自身の情報を公表されることを気にされる)という観点から情報の提供は難しい旨の説明があった。 当協会の日本語教室に参加の多いブラジル人、ベトナム人の滞在年数は概ね次のようなものである。 ブラジル人・10年～20年程度(滞在年数の長い、子どもが小中学生の家族が多い) ベトナム人・1年以下～5年程度(20代から30代、技能実習生、エンジニア、エンジニアの配偶者) (上記の在留資格等は滋賀県商工観光労働部観光交流局調べによるものである)
在住外国人の 日本語教育の現状	

2. 事業の内容

本プログラム取組年数	2年目			
事業の目的	地域に暮らす外国人住民が、生活に必要な日本語を学びながら、日本人住民と「やさしい日本語」を使って交流することで、相互理解を深め、学びあう場として「やさしい日本語」を開講する。			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語教室カリキュラム案作成 ○「やさしい日本語」教室開催 ○地域住民に対する周知・広報・意識啓発 ○サポーター募集・育成 ○サポーターによる「やさしい日本語教室」開催に向けての研修 ○地域の関係機関との連携強化 ○市内小学校への外国人訪問、交流会 			
事業の対象期間	2019年4月～2020年3月			
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)	<ul style="list-style-type: none"> ○高島市在住外国人へのアンケート実施による現状把握 ○アンケートに基づいて、「やさしい日本語」教室の本格的開催への立案 ○「やさしい日本語」教室の試行(2018年10月下旬より実施。月2回) ○サポーター要請(10月よりボランティア数名に「やさしい日本語」教室の趣旨を説明、協力を仰ぎ、サポーターとして参加してもらった) ○市内小学校への外国人の訪問交流会の実施 			
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	川崎 功	高島市国際協会	会長	渉外、総務
	白神 睦子	〃	副会長	総括コーディネーター
	横井 初子	〃	理事	日本語サポート養成計画・プログラム作成
	橋本 敦子	〃	事務	連絡・調整・文書作成
	森川 結花	甲南大学	特任講師	日本語教育指導養成・プログラム作成
	村尾 史子	高島市国際協会		日本語サポート養成計画・プログラム作成
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	井上 洋	ダイバーシティ研究所	参与	継続(2年目)
	中東 靖恵	岡山大学	准教授	継続(2年目)
	幕田 順子	福島県国際交流協会	主任主査	継続(2年目)

4. 具体的な取組内容

(1)年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2019年 ★4月	★キックオフ会議 4/19 ○事業計画書+D115:M130作成 ○事業連携団体への説明、協力要請 ○やさしい日本語教室開催 4/13	・事業計画作成 調整 検討 ・関係団体協力依頼 ・教材作成 ・やさしい日本語教室開催	★事業計画について検討 アンケート・サポーター育成・教室運営・視察・講演会等について検討、助言
2019年 5月	○やさしい日本語教室開催 5/11 ○事業計画書提出 ○サポーター育成 会報でボランティア募集	・事業計画提出 ・教材作成 ・日本語教室開催 ・ボランティア育成事業の検討、募集	
2019年 6月	○やさしい日本語教室開催 6/22 ○ブラジル料理教室開催(ボランティアサポーター募集) 6/8 ○空白地域解消推進協議会参加 6/28 ○小学校訪問 外国人による出前授業(本庄小学校)6/11	・教材作成 ・日本語教室開催 ・ブラジル料理教室でボランティア募集 ・文化庁協議会参加(東京)	
2019年 ★7月	○やさしい日本語教室開催 7/13・27 ★岡山県総社市 日本語教室視察 7/14 ○高島踊り保存会に参加依頼・練習(地域住民との交流・日本文化理解)	・教材作成 ・日本語教室開催 ・先進地(総社市)視察 ・高島踊り保存会 連絡調整・練習会参加	★中東アドバイザー視察手配 総社市同行
2019年 ★8月	○やさしい日本語教室開催 8/10・24 ○ブラジル人雇用企業の祭りに参加(日本語教室の案内チラシ配布) 8/10 ○高島踊り大会参加 8/10夜 ○地域日本語教育コーディネーター研修参加 ★「やさしい日本語」講演会・ワークショップ開催	・教材作成・日本語教室開催 ・ポルトガル語案内チラシ作成 配布 ・高島踊り大会参加 連絡調整 ・講演会ワークショップ準備・開催	★中東アドバイザー ワークショップ・講演会講師
2019年 9月	○やさしい日本語教室開催 9/7・28 ○教室終了後 検討会開催 9/7・28	・教材作成・日本語教室開催 ・検討会 内容検討 話し合い ・開催 ・新コーディネーター依頼(森川)	
2019年 10月	○やさしい日本語教室開催 10/26 ○検討会 開催 10/26 ○情報交換会(東京) 10/28	・教材作成 ・日本語教室開催 ・検討会 内容検討 話し合い ・開催 ・新コーディネーター依頼(村尾) ・情報交換会 参加	
2019年 11月	○やさしい日本語教室開催 11/9・30 ○検討会開催 11/9・30 ○地域日本語教育コーディネーター研修 中間報告会 11/15	・教材作成 ・日本語教室開催 ・検討会 内容検討 話し合い ・開催 ・中間報告会 参加	
2019年 12月	○やさしい日本語教室開催 12/7・21 ○検討会開催 12/7・21 ○クリスマスお楽しみ会 12/21	・教材作成 ・日本語教室開催 ・検討会 内容検討 話し合い ・開催 ・クリスマスお楽しみ会 準備 開催	
2020年 1月	○やさしい日本語教室開催 1/11・25 ○検討会 開催 1/11・25 ○文化庁より日本語教室視察 1/11	・教材作成 ・日本語教室開催 ・検討会 内容検討話し合い 開催 ・文化庁視察受け入れ	
2020年 2月	○やさしい日本語教室開催 2/8・22 ○検討会 開催 2/8・22 ○小学校訪問 外国人による出前授業(新旭北小学校ほか3校)2/4・17 ○スタートアッププログラム終了報告書提出	・教材作成 ・日本語教室開催 ・検討会 内容検討 話し合い 開催 ・プログラム終了報告	
2020年 3月	○スタートアッププログラム2019年度報告書提出	・報告書作成 提出	

(2) 立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称	「やさしい日本語」教室						
外国人参加者について	[国籍]ベトナム5名 ブラジル2名(平均) [属性]ベトナム人エンジニアの配偶者、日系ブラジル工場労働者			参加者数 (内 外国人数)	受講者7名 支援者7名 (日本語指導者7名、サポーター5名)		
開催時間数	総時間	41.5時間	内訳	2時間×8回	1.5時間×9回	4時間×3回	
目標	地域に暮らす外国人が、生活に必要な日本語を学びながら、日本人住民と「やさしい日本語」を使って交流することで、相互理解を深め、学びあう場としての日本語教室を目指す。						
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2019年4月13日(土) 10:00~12:00	2	今津東コミュニティセンター	8	お花見に行きました	「お花見に行きました」「どうでしたか？」 きれい、人が多い、等の形容詞表現。お花見を話題にした会話	日本語指導者2名 サポーター1名
2	2019年5月11日(土) 10:00~12:00	2	今津東コミュニティセンター	8	ゴールデンウィーク	「ゴールデンウィークに、なにをしましたか」(会話) 令和 元号 カレンダーの言い方 母の日について	日本語指導者2名 サポーター2名
3	2019年6月22日(土) 10:00~12:00	2	今津東コミュニティセンター	9	友達になろう	自己紹介の仕方(名前・国・ニックネーム・誕生日・家族・仕事・好きな事・得意な事) 自己紹介をしあう(相手のことを聞く)→ 他己紹介	日本語指導者3名 サポーター14名
4	2019年7月13日(土) 10:00~12:00	2	働く女性の家	7	プレゼント・贈り物	あげます・もらいます表現(いつ・どんな時に・なにを) ブラジル、ベトナムのプレゼントの習慣・文化を聞く	日本語指導者2名 サポーター9名
5	2019年7月27日(土) 10:00~12:00	2	働く女性の家	8	高島踊り練習会	浴衣を着せてもらう 高島踊り保存会の人達に高島踊りを習う	日本語指導者2名 サポーター12名
6	2019年8月10日(土) 10:00~12:00	2	働く女性の家	3	日本の夏	日本の夏を涼しく過ごす工夫 お盆について	日本語指導者2名 サポーター4名
7	2019年8月24日(土) 10:00~12:00	2	働く女性の家	8	台風・大雨	台風大雨について高島市防災マップを使って避難場所・避難情報 非常持ち出し袋、困ったときの言い方・家族連絡方法	日本語指導者2名 サポーター6名
8	2019年9月7日(土) 10:00~12:00	1.5	働く女性の家	5	地震・災害	地震・災害について 地震の時、どうしますか 避難所で何が出来ますか(～ことができます)	日本語指導者1名 サポーター7名
9	2019年9月28日(土) 10:00~11:30	1.5	働く女性の家	4	病気・病院	病気について(こんな時、どうしますか。どこへ行きますか。) 症状の言い方・問診票の書き方・病院での会話	日本語指導者2名 サポーター9名
10	2019年10月26日(土) 10:00~11:30	1.5	働く女性の家	6	ゴミの出し方	高島市地域別ゴミの分け方・出し方。毎週〇曜日等の言い方を学ぶ 分からないことを近所の人に聞く(会話)	日本語指導者2名 サポーター5名
11	2019年11月9日(土) 10:00~11:30	1.5	働く女性の家	5	頼む・お願いする	動詞のグループを学ぶ(歌とゲームで) 色々な動詞を使って頼む・お願いする文を作る(～てください)	日本語指導者1名 サポーター2名
12	2019年11月30日(土) 10:00~11:30	1.5	働く女性の家	4	茶道体験	和室で日本文化体験「茶道」 茶道の精神 作法を学ぶ。自分でお茶を点ててみる。	日本語指導者2名 サポーター6名
13	2019年12月7日(土) 13:00~14:30	1.5	観光物産プラザ	5	電話で予約する	電話でレストランの予約、病院予約の仕方 電話での会話表現を学ぶ	日本語指導者2名 サポーター8名
14	2019年12月21日(土) 13:00~17:00	4	観光物産プラザ	11	日本の12月 お楽しみ会	日本の12月・年末年始について 消しゴムはんこで年賀状作り お楽しみ会(おせち料理、ベトナム料理、歌、折り紙、よし笛)	日本語指導者2名 サポーター7名
15	2019年1月11日(土) 13:00~14:30	1.5	観光物産プラザ	4	成人の日	成人の日ってなんですか?成人の日を話題に、国による違いを話し合う。(成人式はある?何歳で何が出来る?)	日本語指導者2名 サポーター7名
16	2020年2月8日(土) 13:00~14:30	1.5	観光物産プラザ	5	高島の冬	高島市の冬は雨が降ったり雪が降ったり、、天気予報の表現から、高島の冬の過ごし方を学ぶ。	日本語指導者2名 サポーター5名
17	2020年2月22日(土) 13:00~14:30	1.5	観光物産プラザ	2	座禅草	高島の冬の観光スポットである座禅草群生地をテーマに、色々な交通機関を使って、目的地までの行き方を学ぶ。	日本語指導者2名 サポーター5名

【主な活動】



日本文化体験「茶道」



日本の12月
消しゴムはんこで年賀状作り



座禅草
色々な交通機関を使って行ってみよう

(3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
ブラジル料理教室	2019年6月8日(土) 9:30～13:30 4時間	地域に住む外国人をあまり知らない市民の方に、外国人の存在を知ってもらい、日本語教室への理解を進めるため、ボランティアサポーターの募集を兼ねて、ブラジル人学習者によるブラジル料理教室を開催した。ブラジル料理パステルを作り、パワーポイントでブラジルについて紹介。楽しく和やかな会食で、交流を深めた。ブラジル人6名、ベトナム人6名、日本人15名参加。12名のボランティアサポーターの申込があった。
「やさしい日本語」講演会 ワークショップ	2019年8月31日(土) 13:30～15:30 2時間	「やさしい日本語」の周知・啓蒙活動として、アドバイザーの中東先生に講師を依頼、講演会・ワークショップを開催した。講演会：地域に暮らす外国人の状況「やさしい日本語」とは？「やさしい日本語」を使うコツ。ワークショップ：「やさしい日本語」で話してみよう。日本人20名、外国人11名参加。「やさしい日本語」について知る良い機会になった。
高島踊り大会参加	2019年8月10日(土) 17:00～21:00 4時間	日本文化を知り、地域住民との交流を深めるため、高島踊り保存会の方とボランティアサポーターに浴衣を着せて貰い、高島踊り大会に参加した。初めての下駄に足が痛いのも忘れ、踊りの輪に入り、太鼓と笛、音楽に合わせて、最初から最後まで踊り通した。地域の祭りは、外国人にとって興味があっても中々輪の中に入りづらいものだが、保存会の方達の協力のお陰で、日本文化体験、交流が出来た。

【主な活動】



ブラジル料理教室
出来上がったパステルを皆で頂きます



「やさしい日本語」
講演会・ワークショップ



高島踊り大会に参加

5. 今年度事業全体について

進捗状況	概ね予定通り進めることが出来た。
成果	<p>2018年度「生活のための日本語教室」はブラジル人とベトナム人の教室を分け、それぞれのニーズに答えて説明をしたり教えたりする時間を多く取っていた。2019年度に入り教室の目標を高島市民と高島市に住む外国人との学習の場にするものとした。どこの国の方も一同に集まることによって、日本語及び日本の文化習慣を外国人が知るに留まらず、共に日本人も外国の文化習慣を学ぶことができ、日本語学習と生活習慣の理解、交流がより質の高いものとなった。</p> <p>ブラジル料理教室を開催(6月)し、日本語教室を知ってもらい ボランティアサポーター募集、12名申込登録があった。</p> <p>先進地視察(総社市)。「やさしい日本語」講演会ワークショップを開催し、「やさしい日本語」について市民の興味と理解を得られた。</p> <p>地域の祭りに参加し日本文化を体験、市民と交流を深めることが出来た。</p> <p>検討会開催(9月～) 授業内容・運営方法など話し合い、サポーターと共に教室を作っていく協力体制が出来た。</p> <p>日本語教育専門家に協力を仰ぎ、有資格者(未経験)が日本語指導者として教室を担当出来るようになった。</p>
地域の関係者との連携による効果	<p>行政は情報提供、イベント開催時の参加、広報での情報発信などで協力してもらった。</p> <p>地域の祭り保存会の協力を得て、浴衣を着て市民と一緒に盆踊りに参加出来た。</p>
コーディネーターの主な活動	<p>①ニーズの調査(10H) ②体制整備のための調整(30H) ③人材育成のための調整(50H) ④日本語教室開設及び運営のための調整(100H) ⑤教材作成に向けた調整(80H) ⑥その他(30H)</p> <p>内容:高島踊り保存会訪問、先進地視察、講演会開催広報活動(ポスター、チラシ制作配布、新聞社、関係機関訪問)</p>
アドバイザーの主な助言	<p>地域住民に対する啓発について : 市民に知ってもらうアンケートや、広報に記事を掲載。市の協力が必須。</p> <p>サポーター募集・育成について : 外国料理教室を開き、募集する。講演会・ワークショップを開催する。</p> <p>教室運営について : イベント、行事を教室の周知等に活用するようにする。(その例として市民の集まるフェスタなどで料理を提供しながら、ボランティアを募ったり外国語サロンを開いて広く交流をはかる。)母国を紹介してもらう。出来る外国人が日本語レベルの低い外国人を教える。</p> <p>国籍が多ければ多いほど、共通語が日本語になる。共に学び合う、交流の場としての日本語教室を目指す。</p> <p>学習者が増えない : 外国人は紙情報弱者→情報発信の仕方を考える Facebook(SNS)の活用、口コミ</p>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの外国人に教室を知ってもらい、来てもらい、続けてもらうための方策を考える。 ・スタートアッププログラム終了後の安定した運営体制を確立する。
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の見直し・改善 ・教材の充実(共有して使えるように、高島市仕様の教材作成) ・年間スケジュール・カリキュラム案作成 ・イベント参加(地域住民との交流・周知・広報・啓発活動) ・Facebookでの情報発信を充実、学習者との繋がりを強化 ・地域日本語スタートアッププログラムからは自立し、当協会として「やさしい日本語教室」は今後も、ボランティアメンバーを中心に開講する。 <p>2年間の研修の成果をもとに、今後も地域外国人が住みやすい、多文化共生のまちづくりを進めていく。</p>

本件担当 : 高島市国際協会